

# 平成 31 年度(2019 年度) (公財)松山観光コンベンション協会事業計画

## ■活動方針

平成 31 年度(2019 年度)、国内では、新天皇即位にともない今年限りの祝日によってゴールデンウィークが最大で 10 連休となるほか、大型スポーツイベント「ラグビーワールドカップ 2019 日本大会」、日本での初開催となる G20 サミットなどが開催されます。

一方、愛媛・松山の観光・コンベンションを取り巻く状況としては、7 年かけて取り組む道後温泉本館の保存修理工事が始まったことや、2020 年 3 月末まで 3,000 人と 1,000 人のホールを有する愛媛県民文化会館が大規模改修で使用できなくなることにより、観光客やコンベンション開催に少なからず影響が出るのが考えられます。

しかし、愛媛初のハイレベル会合となる「G20 労働雇用大臣会合」が松山市で開催され、愛媛県東予地域で展開される大型イベント「えひめさんさん物語」や造船の街、今治市で世界規模の見本市・展示会「バリシップ 2019」の開催、大型クルーズ船の寄港などもあり国内外からの注目が集まると予想されます。

そのため当協会としては、保存修理工事中であっても道後温泉本館の一部入浴が可能であることや工事期間ならではの取り組みである「道後 REBORN プロジェクト」、道後温泉別館 飛鳥乃湯泉、現存 12 天守の 1 つである松山城など松山を代表する観光施設情報を中心とした情報発信に努めるとともに、これらを活かしたコンベンション誘致活動を積極的に働きかけることで、松山への誘客に取り組んでいきます。

観光・物産振興事業としては、松山市と連携して「瀬戸内・松山」構想を推進するとともに、これまで同様「しまなみ・やまなみ」などの魅力ある地域と協力し、本市ならではのまち歩き促進や食の観光の充実を図り、交流人口と滞在時間の増加を目指します。また、松山神輿を中心とした「愛媛のまつり」を「大神輿総練」として実施することで、県内外に対して魅力ある観光資源の PR に努めます。受入面では、観光客に対するおもてなしの充実を図るために、観光ボランティアガイドと連携したソフト面のサービスを強化するとともに、案内所における多言語化対応等に努め、ホームページの充実にも取り組み、特に「食」の面での情報発信を行うことで、国内外からの観光客への対応を強化します。物産面では、札幌の百貨店における観光物産展のほか、集客が見込まれ、発信力の高い首都圏において愛媛県・松山市が開催するイベント等への共同出展や共催を検討し、観光キャンペーンや誘客イベントと併せ、より充実した内容で効果的に本市の魅力を発信していきます。

コンベンション推進事業においては、既存事業である 7 都市情報交換会加盟都市や中四国地区の他都市との広域連携をさらに推進するとともに、キーパーソンの訪問や視察受入、コンベンションデータの情報化推進、「愛媛・松山」ならではの観光資源や施設等でのユニークベニューの活用など特色ある大会開催を提案することで厳しい都市間競争の中、他都市と渡り合えるよう効果的な情報収集ならびに誘致活動を行います。

また、国際関連事業としては、7 月から松山～台湾(桃園空港)とを結ぶエバー航空(台湾)の定期便が就航されることからより一層、松山市と友好交流都市・台北市との交流を深め、相互送客を図るなど観光経済交流事業を継続するほか、既存路線である中国・韓国などアジアを中心とした海外からの誘客交流事業に愛媛県・愛媛 DMO・松山市と協力して取り組んでいきます。

# I. 公益目的事業別事業計画

## 1. 観光・物産振興事業（公益目的事業1）

予算総額 95,853 千円

（人件費を除く。以下同じ）

### （1）おいでんか松山観光客誘致促進事業

支出予算 3,000 千円

受注型企画旅行で送客のあった旅行会社等を通じバス等の借上げ料について、実施要項に基づきその経費の一部を助成する。

### （2）松山マドンナ大使関連事業

支出予算 3,108 千円

公募により選出された松山マドンナ大使の派遣活動等を通じて、松山の観光・物産PRや観光客誘致を効果的に行う。

### （3）観光PR事業

支出予算 22,963 千円

新聞、雑誌等の各種広告媒体を活用した広報宣伝事業に取り組むとともに、イベント等の事業実施を通じて、愛媛・松山ならではの特色ある観光情報の効率的な発信を行う。

#### ① 広告宣伝事業

ア 時刻表、雑誌、新聞等への広告等

イ 愛媛FC及び愛媛マンドリンパイレーツの試合会場への看板掲出

ウ 愛媛マラソン手荷物預かり袋広告制作

#### ② イベント事業

大神輿総練

期 日 2019年9月8日（日）（予定）

場 所 松山市城山公園（堀之内地区）

内 容 ・松山神輿（約20基）・太鼓台・牛鬼などによるパフォーマンス

・伝統芸能披露（野球拳おどり、水軍太鼓、鉄砲隊、継獅子など）

・えひめの物産展（県内市町の特産品販売や観光PRブースの出展）

・その他 ステージイベントなど

#### **(4) 観光キャンペーン事業**

**支出予算 23,939 千円**

市内外において、関係機関と連携を図りながら、観光キャンペーン等の事業実施を通じて、松山の観光PRを行い、観光客誘致を図る。

ア. 四国観光立県観光キャンペーン(未定) (協賛事業)

期 日 2019年(未定)

イ. 瀬戸内連携共同観光キャンペーン(松山市と連携)

期 日 2019年(未定)

ウ. 「松山 DAY in 神宮球場」観光キャンペーン(協力: ヤクルト球団)

期 日 2019年7月17日(水)(予定)

場 所 神宮球場

内 容 東京ヤクルトスワローズの神宮球場ホームゲームにおいて  
松山市の観光宣伝等を実施

エ. 松山の観光PR事業(台湾)

期 日 2019年10月(予定)

場 所 台湾 台北市

内 容 松山の観光PRブースを出展し、松山の文化や観光情報の提供  
等PRを実施

その他、松山市との連携により商談会等に参加しPRを実施

オ. 松山の観光PR事業(香港)

期 日 2019年11月(予定)

場 所 中国 香港特別行政区

内 容 愛媛県や愛媛DMOなどと協同で、現地旅行会社などへセール  
スを実施し松山への誘客に努める。

#### **(5) 物産と観光展事業**

**支出予算**

**8,806 千円**

札幌市や首都圏等の百貨店や交通結節点等において、松山の物産展や観光PRの企画・運営を行い、観光物産事業の振興による誘客促進、地域経済の活性化を図る。

ア. 松山の物産と観光展 札幌市(さっぽろ東急百貨店)

期 日 2020年2月下旬(予定)

イ. 首都圏等での物産展

適宜、愛媛県および松山市の実施している観光キャンペーン等と連携し、物産販売や観光PRを実施する。

#### **(6) パンフレット等の作成・頒布事業**

**支出予算 1,204 千円**

観光案内パンフレット等の作成・頒布を通じて、松山の観光PR・観光客誘致を行う。

- ① 瀬戸のまつやま「海ごはん」MAP
- ② 松山観光ポスター

#### **(7) 案内所運営事業**

**支出予算 25,805 千円**

観光客等への窓口として、松山市内4ヶ所（松山城・道後・JR松山駅・松山観光港）において観光案内所を設置し、観光地や宿泊施設、地域資源等の情報発信を行うことにより、都市イメージの向上を図る。

#### **(8) 松山観光ボランティアガイド事業**

**支出予算 6,729 千円**

市民、観光関連団体、行政が一体となり、ガイド事業やガイド養成講座などを通して、国内外の観光客を「おもてなしの心」でお迎えする機運を醸成し、松山観光を支えていく。

## 2. コンベンション推進事業（公益目的事業2）

予算総額（支出）31,886千円

### （1）誘致促進事業

支出予算 12,072千円

#### ① 誘致セールス

首都圏、大都市圏に所在する学協会等事務局のコンベンション主催団体本部、愛媛県内の地元キーパーソンである有力者や地方支部に対し、助成金をはじめとする開催支援メニューなどのインセンティブやユニークベニュー等、愛媛・松山の特色を生かした提案、また、松山城、道後温泉本館等の魅力的な観光資源の紹介などを行い、学協会等の全国大会や国際会議等、コンベンションを松山に誘致するためにセールス活動を行う。

#### ② 第29回国際MICEエキスポ（IME2020）への出展

国際会議、学会・大会、企業ミーティング等、MICE開催を支援する商談会としては日本で最大規模の「第29回国際MICEエキスポ（IME2020）」に出展し、全国大会をはじめとしたコンベンションを松山に誘致するため、来場するコンベンション主催者に対して、セールス活動や商談を行う。

期 日 2020年2月（予定）

場 所 東京都内（予定）

#### ③ 誘致懇談会の開催

当協会が加盟する「中国・四国地区コンベンション推進協議会」や「7都市情報交換会」に属する各地方都市のコンベンション推進団体と合同で、コンベンション主催者である学協会等事務局を招いて開催する首都圏での誘致懇談会において、情報交換やセールス活動を行う。

また、地元にある地方支部・団体等や有力者などキーパーソンを招いて開催する地元での誘致懇談会において、講演会、大会開催に関する支援情報の提供や意見交換、ならびに当協会の賛助会員との商談機会を提供することで、愛媛・松山へのコンベンション振興を図る。

##### ア 中四国地区コンベンション推進協議会事業

総 会 期 日 2019年7月頃

場 所 広島県広島市

懇談会 期 日 2019年12月5日（水）

場 所 東京都内

イ 7都市情報懇談会

情報懇談会 期 日 2020年1月23日(木)  
場 所 東京都内

ウ 地元誘致懇談会

誘致懇談会 期 日 2019年8月29日(木)  
場 所 松山市内

**④ 海外からの誘致促進**

ビジット・ジャパン・キャンペーン(VJ事業)を実施する国の政策等と連携しつつ、海外からの観光客やインセンティブ旅行、教育旅行等の誘致について、愛媛県・松山市と協力して、近隣の上海、韓国、台湾、香港からの誘客増を図るための取り組みを実施し、誘客促進を図る。

**(2) 開催支援事業**

**支出予算 15,795千円**

**① 開催助成金制度**

国際会議観光都市「松山」の発展、愛媛県・松山市の地域振興や地域経済の活性化に寄与することを目的に、一定規模以上のコンベンションを開催する主催者を対象に開催経費の一部を交付要綱に基づき助成することで、コンベンション誘致をさらに促進する。

**② 歓迎用看板等の掲出**

コンベンション開催支援の一環として、松山で開催されるコンベンションのうち、「全国規模の大会で県外参加者1,000人以上」または「国際会議」を対象に松山空港ビル内への歓迎用看板を掲出することで、大会主催者や県外参加者に対する「愛媛・松山」の高いホスピタリティの周知とイメージアップにつなげる。

**③ 支援グッズの作成**

コンベンション参加者に対し、ナイロン製アームバッグやアフターコンベンション用ガイドブック「ようおいでたなもし」等を作成し、各施設の観光パンフレットとともに提供等することで、参加者の利便性向上や観光情報の発信、高いホスピタリティを印象付け、参加者からの高い評価、満足度につなげるとともに、「愛媛・松山」への再訪に寄与させるために積極的に活用する。

**④ サポートスタッフの派遣、育成**

松山でのコンベンション開催の際、主催者からの依頼に応じ、大会の運営補助や観光案内業務等をサポートするためコンベンションボランティアを派遣する。また、一定規模以上のコンベンションに対し、松山マドンナ大使の派遣や郷土芸能の提供、ならびにこれらの支援に関する情報提供など、大会の円滑な運営と

成功に向け充実したサポートを行い、参加者や事務局からの高い評価や満足度につなげ、リピート開催や関連大会の誘致を促進する。

### **(3) 調査・研究事業**

**支出予算 4,019 千円**

#### **① 経済波及効果調査**

愛媛県内で開催されたコンベンションを調査し、その結果を元に地域への経済波及効果（直接効果）額を算出することで、基礎資料として将来のコンベンション振興に役立てるとともに、関係事業者や愛媛県民・松山市民へ当協会が実施するコンベンション推進事業への理解を深めてもらうために実施する。

#### **② コンベンション調査**

愛媛県内で開催予定の大会情報を調査し、その結果を元にコンベンションカレンダーを作成する。カレンダーは当協会賛助会員に情報提供することで、営業活動の側面支援につなげ、地域経済の活性化につなげる。また、得られた情報を当協会の開催支援活動等に活用し、より円滑な事業実施に努める。

加えて、日本政府観光局（JNTO）や（一社）日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）が実施する研修会等に参加し、業務に関する知識や技能を習得し、実務能力の向上を図り、より効果的な業務遂行に努める。

#### **③ 管理システムの運用（コンベンション誘致のための営業支援ツール）**

学協会等コンベンション主催者への訪問や、各種懇談会等における誘致セールス活動等を通じて得られた各種情報等を記録、管理するシステムの再構築を行う。また、これらを解析、活用し、より効果的、かつ的確なコンベンション誘致活動を実施することで、松山におけるコンベンション振興を図る。

## Ⅱ. 収益事業

予算総額（収入） 5,676 千円  
（支出） 1,347 千円

### 1. 広告料収入事業

収入予算 2,240 千円

支出予算 461 千円

- (1) ロープウェイ駅舎3階壁面広告
- (2) 物産陳列ケース
- (3) ロープウェイゴンドラ内広告
- (4) ホームページバナー広告

### 2. 手数料収入事業

収入予算 2,332 千円

支出予算 587 千円

- (1) 案内所での記念グッズ等販売による手数料
- (2) 自動販売機での飲料販売による手数料
- (3) 松山城メダル販売による手数料

### 3. 販売収入事業

収入予算 1,104 千円

支出予算 299 千円

- (1) 名刺台紙販売
- (2) 図書販売
- (3) ハンドタオル販売
- (4) オリジナルグッズ等販売



## Ⅲ. その他管理事業等

予算総額 10,024 千円

### 1. 機関紙「Namoshi」作成

年2回作成し、全国のコンベンション推進団体や賛助会員等に配布

### 2. ホームページ運営

協会ホームページの運営（情報の更新等）

### 3. 新規会員の確保

収入確保のために、新規会員の獲得に努める

### 4. 会議開催

各専門委員会の開催を随時行うほか、理事会・評議員会を必要に応じ適宜開催する

### 5. 共催・協賛事業

(1) 第16回伊予節全国大会（協賛事業）

期 日 2019年4月6日(土)

主 催 伊予節全国大会実行委員会

(2) 第49回野球拳全国大会(協賛事業)

期 日 2019年4月6日(土)

主 催 春まつり野球拳全国大会実行委員会

- (3) 第17回JABA子規記念杯野球大会(協賛事業)  
期 日 2019年4月20日(土)・21日(日)  
主 催 JABA 愛媛県野球連盟
- (4) 第69回松山港まつり(協賛事業)  
期 日 2019年8月3日(土) ※荒天時は8月17日(土)に延期  
主 催 松山港まつり振興会
- (5) 第54回松山まつり(協賛事業)  
期 日 2019年8月9日(金)～11日(日)(予定)  
主 催 松山まつり実行委員会
- (6) いもたき事業(共催事業)  
場 所 出合橋下河川敷  
期 日 2019年9月6日(金)～10月12日(土)(予定)  
主 催 観光松山いも炊き会・(公財)松山観光コンベンション協会
- (7) 愛媛調理製菓専門学校「料理作品展」(協賛事業)  
期 日 2020年2月(予定)  
主 催 学校法人愛媛学園
- (8) 坊っちゃんカップ第13回道後温泉卓球大会(共催事業)  
期 日 2020年2月(予定)  
主 催 (公財)松山市文化・スポーツ振興財団

収支予算書(正味財産増減計算ベース)内訳表

平成31年(2019年)4月1日から平成32年(2020年)3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引 控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	105,000	105,000	0	0	0	0	0	105,000
基本財産利息収入			105,000	105,000			0			105,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息				0			0			0
受取会費	0	0	12,500,000	12,500,000	0	0	0	0	0	12,500,000
賛助会員会費収入			12,500,000	12,500,000			0	0		12,500,000
事業収益	2,840,000	390,000	0	3,230,000	5,676,000	0	5,676,000	0	0	8,906,000
広告料収入				0	2,240,000		2,240,000			2,240,000
手数料収入				0	2,332,000		2,332,000			2,332,000
販売収入		390,000		390,000	1,104,000		1,104,000			1,494,000
観光PR事業収入	720,000			720,000			0			720,000
物産と観光展手数料収入	2,120,000			2,120,000			0			2,120,000
受取補助金等	104,792,000	36,316,800	0	141,108,800	0	0	0	40,475,200	0	181,584,000
市補助金等収入	104,792,000	36,316,800	0	141,108,800			0	40,475,200		181,584,000
受取負担金	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
負担金収入			1,000,000	1,000,000			0			1,000,000
雑収益	0	0	1,000	1,000	0	0	0	184,000	0	185,000
受取利息			1,000	1,000			0			1,000
雇用保険料預り金				0			0	184,000		184,000
<b>経常収益計</b>	<b>107,632,000</b>	<b>36,706,800</b>	<b>13,606,000</b>	<b>157,944,800</b>	<b>5,676,000</b>	<b>0</b>	<b>5,676,000</b>	<b>40,659,200</b>	<b>0</b>	<b>204,280,000</b>
(2) 経常費用										
事業費	120,682,486	47,633,655	5,011,000	173,327,141	4,073,464	0	4,073,464		0	177,400,605
報酬	0	0	680,000	680,000	0	0	0			680,000
給料手当	18,749,000	11,802,000	1,949,000	32,500,000	0	0	0			32,500,000
退職給付費用	1,694,486	951,655	0	2,646,141	0	0	0			2,646,141
福利厚生費	4,833,000	3,333,000	2,382,000	10,548,000	0	0	0			10,548,000
臨時雇賃金	2,322,000	0	0	2,322,000	0	0	0			2,322,000
会議費	641,000	1,985,000	0	2,626,000	0	0	0			2,626,000
旅費交通費	9,119,000	6,060,000	0	15,179,000	0	0	0			15,179,000
通信運搬費	7,446,000	486,000	0	7,932,000	0	0	0			7,932,000
什器備品減価償却費	0	0	0	0	5,470	0	5,470			5,470
消耗品費	7,743,000	2,027,000	0	9,770,000	28,000	0	28,000			9,798,000
印刷製本費	2,496,000	1,811,000	0	4,307,000	0	0	0			4,307,000
諸謝金	9,155,000	827,000	0	9,982,000	0	0	0			9,982,000
報償費	600,000	0	0	600,000	0	0	0			600,000
委託費	41,728,000	4,345,000	0	46,073,000	2,470,000	0	2,470,000			48,543,000
負担金支出	945,000	1,711,000	0	2,656,000	0	0	0			2,656,000
広告宣伝費	4,924,000	76,000	0	5,000,000	0	0	0			5,000,000
賃借料	3,587,000	116,000	0	3,703,000	586,000	0	586,000			4,289,000
修繕費	290,000	0	0	290,000	0	0	0			290,000
保険料	1,060,000	18,000	0	1,078,000	0	0	0			1,078,000
手数料	0	0	0	0	0	0	0			0
光熱水料費	0	0	0	0	269,000		269,000			269,000
租税公課	0	0	0	0			0			0
助成金支出	3,000,000	12,000,000	0	15,000,000	0	0	0			15,000,000
雑費	350,000	85,000	0	435,000	0	0	0			435,000
期首棚卸高				0	1,707,672		1,707,672			1,707,672
期末棚卸高				0	△ 992,678		△ 992,678			△ 992,678

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引 控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
管理費								38,782,622	0	38,782,622
役員報酬								4,883,000		4,883,000
給料手当								15,042,000		15,042,000
福利厚生費								4,482,000		4,482,000
臨時雇賃金								2,322,000		2,322,000
退職給付費用								2,029,622		2,029,622
会議費								378,000		378,000
旅費交通費								85,000		85,000
交際費								52,000		52,000
通信運搬費								1,726,000		1,726,000
手数料								0		0
消耗品費								1,946,000		1,946,000
印刷製本費								530,000		530,000
諸謝金								200,000		200,000
委託費								676,000		676,000
負担金支出								606,000		606,000
賃借料								2,297,000		2,297,000
修繕費								30,000		30,000
保険料								312,000		312,000
燃料費								163,000		163,000
光熱水料費								590,000		590,000
租税公課								430,000		430,000
減価償却費								0		0
有価証券運用損								0		0
雑費(予備費含まない)								3,000		3,000
<b>経常費用計</b>	<b>120,682,486</b>	<b>47,633,655</b>	<b>5,011,000</b>	<b>173,327,141</b>	<b>4,073,464</b>	<b>0</b>	<b>4,073,464</b>	<b>38,782,622</b>	<b>0</b>	<b>216,183,227</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,050,486	△ 10,926,855	8,595,000	△ 15,382,341	1,602,536	0	1,602,536	1,876,578	0	△ 11,903,227
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 13,050,486	△ 10,926,855	8,595,000	△ 15,382,341	1,602,536	0	1,602,536	1,876,578	0	△ 11,903,227
2. 経常外増減の部							0			
(1) 経常外収益							0			
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							0			
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額			356,006	356,006		△ 356,006	△ 356,006			0
当期一般正味財産増減額	△ 13,050,486	△ 10,926,855	8,951,006	△ 15,026,335	1,602,536	△ 356,006	1,246,530	1,876,578	0	△ 11,903,227
一般正味財産期首残高	△ 84,117,376	△ 42,184,046	84,160,579	△ 42,140,843	9,387,066	△ 1,757,451	7,629,615	18,651,974	0	△ 15,859,254
一般正味財産期末残高	△ 97,167,862	△ 53,110,901	93,111,585	△ 57,167,178	10,989,602	△ 2,113,457	8,876,145	20,528,552	0	△ 27,762,481
II 指定正味財産増減の部										
受取補助金等		0		0			0			0
一般正味財産への振替額							0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	521,000,000	521,000,000	0	0	0	0	0	521,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	521,000,000	521,000,000	0	0	0	0	0	521,000,000
III 正味財産期末残高	△ 97,167,862	△ 53,110,901	614,111,585	463,832,822	10,989,602	△ 2,113,457	8,876,145	20,528,552	0	493,237,519

## 収支予算書(正味財産増減計算ベース)

平成31年(2019年)4月1日から平成32年(2020年)3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	105,000	105,000	0
基本財産利息収入	105,000	105,000	0
特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
受取会費	12,500,000	12,500,000	0
賛助会員会費収入	12,500,000	12,500,000	0
事業収益	8,906,000	8,836,000	70,000
広告料収入	2,240,000	2,240,000	0
手数料収入	2,332,000	2,262,000	70,000
販売収入	1,494,000	1,494,000	0
観光PR事業収入	720,000	720,000	0
物産と観光展手数料収入	2,120,000	2,120,000	0
受取補助金等	181,584,000	187,676,000	△ 6,092,000
市補助金等収入	181,584,000	187,676,000	△ 6,092,000
受取負担金	1,000,000	1,000,000	0
負担金収入	1,000,000	1,000,000	0
雑収益	185,000	185,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
雇用保険料預り金	184,000	184,000	0
<b>経常収益計</b>	<b>204,280,000</b>	<b>210,302,000</b>	<b>△ 6,022,000</b>
(2) 経常費用			0
事業費	177,400,605	184,835,644	△ 7,435,039
報酬	680,000	624,000	56,000
給料手当	32,500,000	31,415,000	1,085,000
退職給付費用	2,646,141	902,264	1,743,877
福利厚生費	10,548,000	9,975,000	573,000
臨時雇賃金	2,322,000	2,243,000	79,000
会議費	2,626,000	2,838,000	△ 212,000
旅費交通費	15,179,000	15,947,000	△ 768,000
通信運搬費	7,932,000	8,908,000	△ 976,000
什器備品減価償却費	5,470	5,470	0
消耗品費	9,798,000	10,685,000	△ 887,000
印刷製本費	4,307,000	4,405,000	△ 98,000
諸謝金	9,982,000	10,342,000	△ 360,000
報償費	600,000	600,000	0
委託費	48,543,000	49,637,000	△ 1,094,000
負担金支出	2,656,000	2,422,000	234,000
広告宣伝費	5,000,000	5,014,000	△ 14,000
賃借料	4,289,000	4,238,000	51,000
修繕費	290,000	290,000	0
保険料	1,078,000	1,104,000	△ 26,000
手数料	0	4,000	△ 4,000
光熱水料費	269,000	78,000	191,000
租税公課	0	117,000	△ 117,000
助成金支出	15,000,000	21,000,000	△ 6,000,000
雑費	435,000	435,000	0
期首棚卸高	1,707,672	1,731,574	△ 23,902
期末棚卸高	△ 992,678	△ 124,664	△ 868,014

管理費	38,782,622	37,638,570	1,144,052
役員報酬	4,883,000	6,598,000	△ 1,715,000
給料手当	15,042,000	16,307,000	△ 1,265,000
福利厚生費	4,482,000	4,061,000	421,000
臨時雇賃金	2,322,000	0	2,322,000
退職給付費用	2,029,622	791,570	1,238,052
会議費	378,000	312,000	66,000
旅費交通費	85,000	85,000	0
交際費	52,000	52,000	0
通信運搬費	1,726,000	1,780,000	△ 54,000
手数料	0	0	0
消耗品費	1,946,000	1,960,000	△ 14,000
印刷製本費	530,000	530,000	0
諸謝金	200,000	200,000	0
委託費	676,000	670,000	6,000
負担金支出	606,000	594,000	12,000
賃借料	2,297,000	2,013,000	284,000
修繕費	30,000	30,000	0
保険料	312,000	334,000	△ 22,000
燃料費	163,000	178,000	△ 15,000
光熱水料費	590,000	750,000	△ 160,000
租税公課	430,000	390,000	40,000
減価償却費	0	0	0
有価証券運用損	0	0	0
雑費(予備費含まない)	3,000	3,000	0
<b>経常費用計</b>	<b>216,183,227</b>	<b>222,474,214</b>	<b>△ 6,290,987</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 11,903,227	△ 12,172,214	268,987
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 11,903,227	△ 12,172,214	268,987
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
<b>退職給付費用</b>			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 11,903,227	△ 12,172,214	268,987
一般正味財産期首残高	△ 15,859,254	△ 13,910,654	△ 1,948,600
一般正味財産期末残高	△ 27,762,481	△ 26,082,868	△ 1,679,613
II 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	521,000,000	521,000,000	0
指定正味財産期末残高	521,000,000	521,000,000	0
III 正味財産期末残高	493,237,519	494,917,132	△ 1,679,613